

平成25年5月24日

ヨルダン王国ダム溪谷公社職員が事務所管内を視察します！

独立行政法人国際協力機構（JICA）が実施する、国別研修「ダム堆砂対策」の一行程として、ヨルダン王国ダム溪谷公社職員が小渋川砂防出張所管内の「女高山腹工（おなだかさんぷくこう）・鹿塩川山腹工（かしのがわさんぷくこう）」の見学と天竜川上流河川事務所を表敬訪問しますのでお知らせ致します。

1. 概要

視察日：6月6日(木)午後

視察者：ヨルダン王国ダム溪谷公社
職員6名

研修概要：裏面をご覧ください。



女高山腹工



鹿塩川山腹工

(山腹工・・・山腹斜面からの流出土砂防止、土砂災害防止を目的としています)

2. 行程

- ①13時00分～13時30分 小渋川砂防出張所にて砂防事業概要説明
(住所：長野県下伊那郡大鹿村大字大河原 892)
- ②14時00分～14時50分 女高山腹工見学、女高堰堤見学、鹿塩川山腹工見学
- ③16時00分～16時45分 天竜川上流河川事務所表敬訪問及び事務所事業概要説明

※山腹工見学を取材される場合は13時30分までに、小渋川砂防出張所にお越し下さい。

3. 解禁：指定なし

4. 配布：伊那市記者クラブ、駒ヶ根市記者クラブ、飯田市記者クラブ

5. 問い合わせ先

国土交通省 中部地方整備局 天竜川上流河川事務所
事業対策官 酒井佳治 砂防調査課事務係長 増谷 達哉
TEL:0265-81-6417(課代表)

平成 25 年度国別研修「ダム堆砂対策」の概要

1. これまでの経緯

ヨルダンには砂漠が広がる乾燥地主体の国土を有する。しかしひとたび雨が降ると洪水や土石流が発生し、裸地化した表土を侵食し、被害を発生させている。こうした土砂災害防止と上流の水源涵養効果の改善を目的として、2007 年 1 月～2010 年 3 月にかけて、「ヨルダン乾燥地砂防・治水支援計画プロジェクト」が国土交通省砂防部所管で実施され、砂防計画、土石流対策、地すべり対策、環境・植生改善について、日本からヨルダン溪谷公社（JVA）、アカバ市に対して指導を行った。

2. 今回の研修の位置付け

今回の研修は、主としてプロジェクト終了後のフォローアップを目的とする。特に、ダム貯水池への土砂流入防止対策（砂防堰堤、地すべり対策）を主とする。ただし、カウンタパートは主にダム技術者であり、貯水池の堆積土砂管理に関心があることから、貯水池へ流入した土砂の調査方法、除石などについての講義・視察を含める。

3. 研修日程（案） 14 日間

6 月 2 日（日） 来日

3 日（月） ブリーフィング、プログラムオリエンテーション

4 日（火） AM：レポート報告会、PM：移動

5 日（水） 終日：富士砂防事務所管内視察

6 日（木） AM：移動 PM：天竜川上流河川事務所管内視察

7 日（金） AM：天竜川ダム統管理事務所管内視察 PM：移動

8 日（土）～9 日（日） 休日

10 日（月） 【講義、討議】 水・土砂モニタリング

11 日（火） 【講義・討議】 低コストチェックダム、貯砂ダムの設計・施工

12 日（水） 【講義・討議】 地すべり対策計画・モニタリング

13 日（木） 【講義・討議】 貯水池地すべりの管理、ダム堆砂対策

14 日（金） AM：発表会準備 PM：アクションプラン発表会、評価会

15 日（土） 離日

4. 研修管理

実施主体： 独立行政法人 国際協力機構

研修管理： 一般財団法人 砂防・地すべり技術センター